

晩秋。暦の上では晩秋～初冬のはずですが、ここ仙台でも日中は結構暖かい日が続きましたので、冬の足音が近づいていることをすっかり忘れていました。しかし、ようやく？枯葉が舞い、最低気温がマイナスという声が聞こえ始めました。前号では、冬に備えて被災者に暖かいホットカーペットと衣類の提供を呼びかけましたが、皆様のお陰で募金も目標額に達成し、11月6日に東松島市の「ひびき工業団地」に150枚のホットカーペットと冬物衣類を届けることができました。ありがとうございました。皆さまの熱い思いに感謝申し上げます。

さて、月に2回発行予定だったメルマガですが、最近は忙しくて月1回となってしまいました。申し訳ありません。今号では諸々の報告を主にしますので、パラソル喫茶の活動報告は簡単にさせていただきます。

◆ 団体名変更&復興支援事務所所長の紹介

組織編成にともない団体名が変更になりました。活動内容は変わりませんが、不在であった仙台事務所長を引き受けてくださる方を迎えましたので、これまで出来なかった行政や他団体とのネットワーク活動、現状を分析したうえでの復興支援活動の幅が広がり、名実ともに市民協の仙台事務所としての体を成していくに違いありません。どうぞ期待！

【復興支援事務所長：安部白道】※市民協MMに自己紹介されました挨拶文を要約してお伝えします。

東北とは、不思議なご縁で結ばれている気がしてなりません。介護やボランティアに縁もゆかりもない企業戦士だった私が、住友生命社の社会貢献事業として取り組んだ「認知症支援プロジェクト」が契機となり、認知症介護研究・研修仙台センター（当時）の阿部芳久氏はじめ、多くの心ある方々との出会いをいただきました。10年前のことです。

定年後はゆっくりとみちのくの旅を楽しむはずでしたが、この大震災の現状、特に原発に苦しむ福島の様を見るにつけ、“彼らを見捨てるなら日本人ではない”との思いから、単身福島支援に専心する覚悟でいたところ、さわやか福祉財団で親しくさせていただいていた市民協会員の皆さんからのラブコールを受け、就任することにいたしました。就任にあたり、島津禮子代表理事から「市民協だけでなく、全てのNPOが復興に心と力を合わせるよう取り組んでほしい」との熱いメッセージを賜り、深く共感するところです。

この未曾有の大災害により、被災したのは、被災地はもとより日本国民全体の心でありましょう。ならば、支援される側もする側も、共に被災者・被爆者であるという視座が欠かせないのではないのでしょうか。そこに、復興への足がかりを感じております。心ある皆様の温かいご支援とご指導を切にお願い申し上げます。（※1月より常駐です）

◆ 第7回パラソル喫茶 in 東松島市 (11/6)

- ・参加者：コモンズ（狭山）チーム30名、WACチーム18名、まつどチーム31名、アラジン7名、移動サポートひらけごまチーム7名、佐賀県チーム2名、事務局4名

ボランティア多数のため、従来の「ひびき工業団地仮設」に加えて、新しく矢本運動公園仮設でもパラソル喫茶を実施しました。しかも、予約していた公民館を地元の野球チームに譲ったので、

「ひびき」の中でもまた3ヶ所に分かれての活動で、それぞれ昼食（豚汁やご飯、ホットドック）の準備に大わらわでした。

現在、仮設では1号棟から順番に壁に断熱材を張り付ける工事が急ピッチで進められておりましたが、最期のほうになると予想される仮設の人達は、既に結露がひどくて毎日の日課が窓ふきから始まるとか…。一日も早い暖房対策が待ち望まれています。



矢本運動公園仮設東屋



ひびき工業団地2号付近



ひびき工業団地1号集会所

◆ 活動報告（9/28 ～ 11/5） 各チームごとに報告します。

1、茂庭台すずめの宿《代表：鈴木啓子》

- ・月1回の喫茶活動 11:00～15:00
(主な活動は茂庭台での毎週月曜の宅老所活動)
- ・10月9日、七郷中央公園仮設で活動。
毎回、昼食を用意。この日はカレーライスを100食分用意。
メンバーに可愛い小学生2人が参加しています。



2、さくら会《代表：小山照子》

- ・月2回の喫茶活動 13:30～15:30
(以前、地域の市民センターでふれあいデイ活動を実施)
- ・10月6日、JR南小泉アパート借り上げ住宅仮設で活動。
- ・10月20日、JR南小泉アパート借り上げ住宅仮設で活動。



3、ナルク《代表：林茂》

- ・月2回の喫茶活動 13:30～15:30
(主な活動は移動サービスを中心とした生活支援活動。全国組織なのでVが全国から集まり、現在は月4回の活動です)
- ・9月28日、宮城野区仙台港背後地6号公園仮設で活動。
- ・9月29日、若林区荒井小用地仮設で活動。
- ・10月12日、宮城野区仙台港背後地6号公園仮設で活動。
- ・10月13日、七ヶ浜町七ヶ浜中学校第2グラウンド仮設で活動
- ・10月26日、若林区日辺グラウンド仮設で活動
- ・10月27日、七ヶ浜町七ヶ浜第1スポーツ広場仮設で活動。



4、パストラルケア《代表：伊藤宣子》

- ・月2回の喫茶活動 13:30～15:30

(主な活動はキリスト教精神を基に尊厳を大切にした傾聴活動)

- ・ 10月15日、牡鹿半島大谷川仮設で活動

(仙台からは片道でも2.5時間かかりますので、2ヶ月に1回の活動です。皆さん、楽しみに待ってくださっています)

- ・ 10月27日、若林区中央公園仮設で活動



5、NPO 法人ささえ愛山元《代表：中村怜子》

- ・ 月2回の喫茶活動 10:00~12:00

(甚大な被災を受けながらも、全国からの温かい支援に奮起し、本来のデイサービス事業を開始しました)

- ・ 10月1日、山元町町民グラウンド仮設で活動

(毎回、支援物資も提供しています)

- ・ 10月20日、山元町高瀬字西石山原仮設で活動

- ・ 11月5日、山元町浅生原字箱根仮設で活動



6、仙台事務局

- ・ 9月29日、若林区JR南小泉アパート借り上げ住宅仮設で活動

- ・ 10月16日、若林区JR南小泉アパート借り上げ住宅仮設で活動
(仮設住宅入居者をまとめていこうと芋煮会を企画し、奮闘されている自治会長さんからの要望に応じて、芋煮の食材200人分を調達。そして喫茶活動も実施)

- ・ 10月17日、若林区七郷中央公園仮設で「仙台傾聴の会」と活動

- ・ 10月27日、宮城野区扇町4丁目仮設で活動

(宮城野区役所や仮設を管理しているパーソナルサポートセンターからの要望により実施。参加人数が少ないと思われるので、事務局としては初めての昼食(芋煮とおにぎり)を準備したところ、10数人の参加があり喜ばれました)

- ・ 10月31日、石巻開成団地第4仮設で活動

(1万人市民委員会のメンバーからの依頼で実施。1000戸の大きな仮設で第1~第13仮設まである。色々な地域から集まって来ているので、なかなか自治会が誕生しないので、まずは“手仕事好きな人集まれ”というテーマで知り合うきっかけづくりをしました)



■ ご支援ありがとうございました。

- ・ 東京の鈴木克行さんから、冬物衣類をいただきました。
- ・ (社)日本編物文化協会アムウ編集室：青木千鶴さんを通して手編みのマフラー・帽子を500枚いただきました。
- ・ 兵庫県のNさん(匿名希望)から、支援金3万円をいただきました。
- ・ 東京の地免俊子さんから、綿毛布等、多数いただきました。
- ・ 愛知のNPO法人瀬戸地域福祉を考える会まごころから、冬物衣類をいただきました。